

【問題】次の文と図から、「人間関係を強くすること」について、あなたの経験を踏まえ、考えを300字以上で述べなさい。

「人間は社会的存在」つまり他者との関わりの中でこそ存在し得る。しかし、現代社会は以前に比べ「人間関係がドライ・淡泊」の傾向が強いと言われる。また、引きこもり状態の人が約146万人（15～64歳／令和5年版厚生労働白書）というデータにも表れるように、他者との社会的関わりに課題を持つ人が非常に多い状況である。

これからの時代を生きる大学生には、他者と積極的かつ協働的に関わる中で自らの資質能力を広く高く向上させ、発揮して欲しい。そして新たな知見を切り拓き、よりよい社会を構築していく主体者となって欲しい。そのための基盤として、よりよい人間関係を構成する資質能力を身に付けることが重要である。

本問題では、「ナナメの関係」を例にして「多様な他者との関わりがコミュニケーション能力を伸ばす」という論から、受験生自身に「多様な他者との関わりにより人間関係を強くすること」について考え、自分の経験と結び付けながら適切な文章表現により論述することを求めている。

なお「適切な文章表現」については、問題文の趣旨を踏まえること、文章構成・文章内容が適切であること、基本的な作文表現（書き方）に拠ること、誤字脱字や字形（読める字）に留意すること、などの観点を重視している。